

中国で初めて発見されたクロツラヘラサギの繁殖地

尹作華・雷富民・丁文寧・丁長青

中国科学院動物研究所

訳 福井和二

概要 1999年6月15日中国黄海北部の遼寧省大連市長海県石城郷の、ある無人島で、初めて3つがいの繁殖しているクロツラヘラサギを発見した。(現在はこのほか3羽のクロツラヘラサギを観察している)。この島は石城郷東側の北緯39°31′東経23°02′面積約0.25km²、海拔46m、島の鳥類構成はウミネコが最も多く約800羽、次いでカラシラサギが約400、ほかにわずかなセグロカモメ、カモメなどが繁殖している。

クロツラヘラサギ (*Platalea minor*) は、世界でも絶滅を心配されている種で、1994年国際自然保護連盟によりレッドデータブックに挙げられている。

クロツラヘラサギの分布はわずかにアジア東部の沿海部に限られており、河口の干潟や湿地、島嶼に生息している。

文献資料によるとクロツラヘラサギは30年代には中国東部の沿海地域で通常に見られる種であった。最近の数十年来人口の増加、経済建設の発展、および自然資源の開発利用などによって、生息環境の急激な変化をきたし、そのうえ環境汚染は日増しに悪化する状況の中、クロツラヘラサギの数は急速に低下し、個体数は600前後にまで激減し、絶滅が危惧されるようになった。1998年の越冬数は613羽、1999年の越冬数584~587羽(日本野鳥の会提供)。

クロツラヘラサギは体長730~800mm、全身白色、頭に白色の冠毛、前額、眼先、眼周、顔、嘴、脚などが黒色、嘴が扁平で先端が琵琶状である。繁殖期には前胸の羽毛が淡黄色となり、冬季には純白となる。

クロツラヘラサギとヘラサギ (*Platalea leucorodia*) はよく似ていて、間違えることが多い。識別の特徴は下記の通り。

1. クロツラヘラサギは嘴基部の皮膚の裸出部分の前額、眼先、眼周、顔まで黒色である、ヘラサギは眼先、眼周、頬、顔の裸出部が淡黄色である。
2. クロツラヘラサギの嘴はすべて黒色で、ヘラサギでは嘴の先端が淡黄色である。

以上の2点が識別上の大きな特徴である。

クロツラヘラサギは北で繁殖、南で越冬する渡り鳥で、主な越冬地は中国の台湾、香港、深圳、海南、澳門、福建、ベトナム、日本、朝鮮などである。

クロツラヘラサギの主要繁殖地はどこであろうか？ これはちょっとした謎である。よく知られている朝鮮の繁殖地では20つがいばかりが数えられている。人工衛星による国際的な渡りの追跡を行なっているが、現在までのところ新しい繁殖地は見つかっていない。

中国科学院動物研究所鳥類研究班が過去3年にわたって野外観察を行なったことにより、1999年6月15日、中国黄海北部遼寧省大連市長海県石城郷の無人島に3つがいのクロツラヘラサギが繁殖し、ほかに3羽が生息していることを発見した(全9羽)。

形人陀子^{シンレンダツ子}は石城郷の東にある小さな島で、北緯39°31′東経23°02′に位置し、小島の面積は約0.25m²、海拔46m。この島に最も多く生息しているのはウミネコ(*Larus crassirostris*)で、その数約800羽(繁殖途上の幼鳥を含む)、次いで、カラシラサギ(*Erretta sulophotes*)約400(幼鳥を含む)、その他に少量のセグロカモメ(*Larus argentatus*)、カモメ(*Larus canus*)などが繁殖している。カラシラサギは島の高い植被のある部分に巣を構え、カモメ類は岩礁上に営巣している。

クロツラヘラサギは4月中、下旬に渡来し5月初旬から巣造りを初め、5月中、下旬に産卵開始、1日おきに3卵を産む。抱卵・育雛は雌雄共同で行なう。抱卵期にも雌雄共に巣材を運び巣作りをつづける。育雛期間は45日。巣立ちして親鳥と共に採食に向かうと再び巣へは帰らない。

クロツラヘラサギは断崖の頂上部分の岩棚に巣を作っていた。我々は3個の巣を発見し、その一つの巣は島の西端の険しい岩場の頂上にある露岩の部分に営巣し、他の二つの巣は東端の険しい崖の岩棚の草のはえた部分に営巣していた。その巣間距離は約5mであった。巣材はキク科の枯れ草や蔓草を使用し、3個の巣の大きさは外径67.3(45~90)cm×53(48~56)cm、巢内径31.3(25~41)cm×25(23~29)cm、巢高8(4~10)cm×15(10~23)cm、深さ5.3(3~8)cm×8.3(8~9)cmであった。卵は白色で赤錆色の斑点があり鈍端の卵形で、5卵の大きさは65.4(63~71)mm×43(40~46)mmである。クロツラヘラサギの中国での繁殖が発見されたことは重要なことで、この絶滅危惧種を救うための多くの資料を手にすることができ、保護対策を立てるための研究は新しい局面に入った。

訳注

* 形人陀子；人の形をした意味の岩礁名